資料　１

令和６年度における松本地域の取組実績

松本地域の発展方向

松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村
山形村、朝日村、筑北村

持続可能な農業新時代　～継承しよう豊かな食と農～

農業・農村の特徴

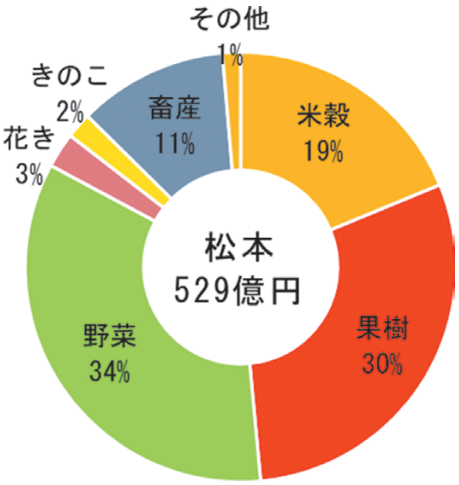
松本地域は、機械化の進んだ土地利用型作物の水稲・麦・大豆、新技術の導入や冷涼な気候を生かした園芸品目の野菜・果樹、付加価値の高い施設園芸の花き・野菜、飼養衛生管理の行き届いた畜産及び、清らかで豊富な湧水に恵まれた水産・わさび等、多種多様な農畜産物が生産される県内屈指の産地です。

地域の担い手は、認定農業者をはじめとする中核的経営体、大規模経営の農業法人のほか、集落営農組織があり、それぞれ高い技術で持続的に産地をけん引しています。

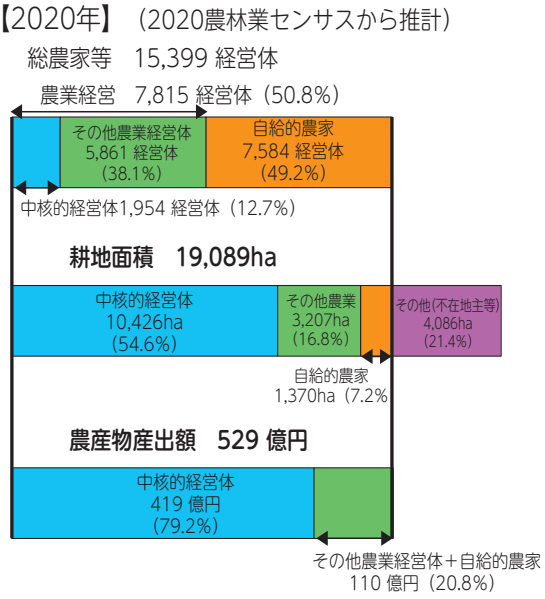
一方で中山間地域では、農業従事者の減少に伴う各種課題が顕著になっています。

現在、農業分野におけるスマート農業技術の開発が急速に進み、土地利用型作物を主体に導入されています。

また、園芸施設や畜産にも各種技術が導入され、今後は中山間地での活用にも大きな期待がされるなど農業新時代を迎えています。



農産物産出額【2020年産】
（農林水産省「農林業センサス」、「生産農業所得統計」、「市町村別農業産出額（推計）」2020年を基に推計）



めざす姿

Ⅰ　皆が憧れ、稼げる松本の農業

●地域の就農希望者の受入体制が整い、毎年多くの新規就農者が確保され、次代を担う若手農業者が育っています。

●農業をけん引する中核的経営体が農地の利用集積・集約化された基盤を活用し、農業用水の安定供給により、効率的で生産性の高い営農を展開しています。

●安全安心で環境にやさしい農業を基本として、県オリジナル品種等マーケットニーズに応える高品質な農畜産物の生産や新技術の導入により、信頼される総合供給産地として発展しています。

Ⅱ　しあわせで豊かな暮らしを実現する松本の農村

●農業者や地域住民など地域ぐるみの協働により、魅力ある農村の景観や多面的機能が農村コミュニティとともに維持されています。

●下流への影響度が大きい農業用ため池について、豪雨や地震への耐性が把握・評価され、耐震化工事などの対策が取られているとともに、低水管理による雨水貯留の取組に伴い流域治水機能が向上しています。

●農地・農業用施設への災害や野生鳥獣による被害が軽減し、安定した生産や豊かな暮らしが確保されています。

Ⅲ　魅力あふれる松本の食

●SDGs やエシカル消費などの関心が高まり、地元農畜産物の消費が伸びています。

●松本地域の農畜産物や加工品の販売、飲食店等における地域食材を活用した食事の提供を通じて、豊かな自然や食材の持つ物語が地域の魅力として享受されています。

●学校や地域における食育活動により、「食と農」の大切さが理解され、松本地域の食文化を愛する心が次世代に継承されています。

施策の展開方向

Ⅰ　皆が憧れ、稼げる松本の農業

重点取組１：農業を担う経営体の育成と人材の確保

米をはじめ野菜、果樹及び畜産物など、総合供給産地としての体質強化を図るため、市村や JA 等と連携して、地域農業のけん引役となる「中核的経営体」の確保に向けて、新規就農者の掘り起こし、集落営農組織の育成、経営体の経営力強化を進めます。

【達成指標】

項目	2021 年度（現状）	2027 年度（目標）
中核的経営体数	1,924 経営体	2,040 経営体
新規就農者数（49 歳以下）	34 人/年	27 人/年

【具体的な施策展開】

○新規就農者の確保、栽培技術・経営管理手法の習得のサポート等による育成及び地域への定着を支援

○「地域計画」の実行や、担い手を対象とした支援策の活用等による中核的経営体の確保・育成と経営の安定・発展を支援

【新規就農者現地指導】

重点取組２：持続的な農畜産物の生産と安定供給

ニーズの高い県オリジナル品種をはじめとする多彩な農畜産物を生産供給するブランド力の高い産地として、引き続きその維持・発展を図ります。

さらに、生産性向上や省力化が期待されるスマート農業等、新しい技術を積極的に導入するとともに、環境にやさしい農業や生産工程の改善等をめざした取組を一層推進します。

【達成指標】

項目	2021 年度（現状）	2027 年度（目標）
りんご高密植栽培導入面積	116 ha	150 ha
小麦「しろゆたか」の栽培面積	1 ha	250 ha
夏秋いちご「サマーリリカル」の生産量	18 t	27 t
自給飼料作物の栽培面積	478 ha	485 ha

【具体的な施策展開】

○環境負荷低減技術、温暖化に対応した生産技術及びスマート農業技術導入の拡大を支援
○県育成品種の生産拡大と品質向上を支援
○樹園地継承による園地と産地の若返りを推進
○すいか、ながいも、わさび等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大を支援
○家畜の飼養衛生管理の徹底及び危機管理体制の強化
○信州ブランド魚の安定生産を支援

【りんご高密植栽培ほ場せん定指導会】

重点取組３：基盤整備の推進と農地の効率的活用

規模拡大や高収益作物への転換等による一層の経営力強化と効率化に向けて、市村等の関係機関・団体と連携し、生産基盤の整備・汎用化等を計画的に推進するとともに、農地についても更なる利用集積と集約化を進めます。

【達成指標】

項目	2021 年度（現状）	2027 年度（目標）
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	2 か所	4 か所

【具体的な施策展開】

○営農効率を高めるため、水田の汎用化等の基盤整備を推進
○水管理の省力化と用水の安定供給のため、長寿命化計画に基づく農業水利施設の更新を推進
○「地域計画」の実行に向けて、農地中間管理事業等による中核的経営体への農地の利用集積・集約化を促進

【更新した新村堰水路（松本市）】

Ⅱ　しあわせで豊かな暮らしを実現する松本の農村

重点取組 4：安全安心で持続可能な農業・農村の活性化

松本地域の農山村において、豊かな風土や地域の特色を生かした農業を維持・継承するため、担い手の確保・育成、農産物生産や農村コミュニティの活性化等を支援します。

野生鳥獣対策及び風食対策等を市村・JA 等と連携して有効な対策を講ずるとともに、気象災害への備えとして、生産者の農業保険制度への加入促進などを支援します。

集中豪雨や地震が頻発して発生する中、松本地域の農山村において、豪雨・地震対策が必要な農業用ため池等施設の耐性評価と防災工事を実施・支援し、災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化を図ります。

【達成指標】

項目	2021 年度（現状）	2027 年度（目標）
農業用ため池の地震耐性評価の実施箇所数	27 か所	95 か所
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	11,622 ha	11,846 ha

【具体的な施策展開】

○対策が必要な防災重点農業用ため池への地震耐性評価と防災工事の実施
○農業用ため池の低水管理に伴う雨水貯留による流域治水対策の推進
○地すべり防止施設等の長寿命化の推進
○用水路等の維持や農産物生産の継続のほか、住民参加による地域活動の活性化を支援

【風食対策ハゼリソウ栽培試験】

○野生鳥獣による被害軽減のための防護柵の設置・管理など地域ぐるみの取組を促進
○風食対策に向けた緑肥作物等の利用促進
○荒廃農地の発生防止と再生を進め、需要のある作物生産での活用を推進

Ⅲ　魅力あふれる松本の食

重点取組５：松本地域の食材を生かした地産地消や食育活動の推進

地域の消費者や観光客からニーズの高い新鮮で多彩な野菜・果実・養殖魚などやその加工品について、一層の販売促進や情報発信の強化に取り組むとともに、観光業や食品加工業等との連携によりエシカル消費を推進します。

また、「食や農」への関心を高めるため、継続的な食育活動の取組を進めます。

【達成指標】

項目	2021 年度 （現状）	2027 年度 （目標）
学校給食における県産食材の利用割合 （品目ベース）	54%	56%

【具体的な施策展開】

○農産物直売所等の魅力向上と地域食材の持つ物語の情報を発信
○農業体験や地域の食文化の伝承など食育活動を行うグループの育成と活動を支援
○米粉の利用拡大の推進

【食育　味覚の授業】

令和６年度　松本地域の取組実績

■ 達成指標の進捗状況

重点取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,924 経営体	1,980 経営体	2,021 経営体	2,040 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	34 人	27 人	29 人	27 人
2	りんご高密植栽培導入面積	116ha	134ha	143ha	150ha
	小麦「しろゆたか」の栽培面積	1 ha	250ha	495ha	250ha
	夏秋イチゴ「サマーリリカル」の生産量	18ｔ	21ｔ	11t	27ｔ
	自給飼料作物の栽培面積	478ha	482ha	480ha	485ha
3	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	２か所	３か所	３か所	４か所
4	農業用ため池の地震耐性評価の実施箇所数	27 か所	63 か所	66 か所	95 か所
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	11,622ha	11,845ha	11,818ha	11,846ha
5	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	54.0%	54.6%	56.9%	56.0%

重点取組１：農業を担う経営体の育成と人材の確保

○　新規就農者の確保及び栽培技術・経営管理の習得等による育成と地域への定着を支援

・ 県農業大学校において就農ｶﾞｲﾀﾞﾝｽを開催し、学生の就農意欲向上を図るとともに、就農準備段階で活用可能な資金の申請を支援（１回、20 人）

・ 新規就農者の資質向上を目的にｱｸﾞﾘﾏｽﾀｰｾﾐﾅｰを開催し、農業経営に必要な技術・経営管理能力の習得・向上を支援（８回、30 人）

○　地域計画（人・農地プラン）の実行や、担い手を対象とした支援策の活用等による中核的経営体の確保・育成と経営の安定・発展を支援

・ 農業委員会や集落懇談会への参画等により、管内市村の地域計画策定を支援（８市村）

・ 懇談会等における助言や補助事業の活用等を通じ、集落営農組織の法人化や機械などの導入による担い手の経営安定・発展を支援（18 経営体）

【地域計画策定懇談会（山形村）】

重点取組２：持続的な農畜産物の生産と安定供給

○　環境負荷低減技術、温暖化に対応した生産技術及びスマート農業の拡大を支援

・ 乗用除草機、除草ﾛﾎﾞｯﾄ等の水田除草機による防除効果を検証（試験ほ１か所、実演会・成績検討会及び成果報告会　各１回）

・ ﾛｹｯﾄｽﾄｰﾌﾞの導入効果検証と周知活動を実施し、樹園地における凍霜害対策を推進（１か所、効果確認試験の報告５回）

○　県育成品種の生産拡大と品質向上を支援

・ りんご「ｼﾅﾉﾘｯﾌﾟ」のﾓﾃﾞﾙ園を設置（１か所、成熟度調査５回）するとともに、薬剤摘果に関する調査の実施及び生産者等へ調査結果の周知を行い、栽培面積の拡大を推進（検討会２回）

・ 飼料用イネの多肥栽培時の生育特性を把握するための展示ほを設置し、栽培面積の拡大を推進（１か所、検討会１回）

【水田乗用除草機実演会（安曇野市）】

○　すいか、ながいも、わさび等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大を支援

・ ながいものかん水の有無による生育・品質の違いを把握するための試験ほを設置し、収量性向上に向けたかん水効果を検証（２か所、検討会２回）

【防疫演習（安曇野市）】

○　飼養衛生管理の徹底及び危機管理体制の強化

・ 連絡会議や高病原性鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞの発生を想定した防疫演習を開催し、関係機関の連絡強化と防疫体制を確認・整備（連絡会議、防疫演習各１回）

重点取組３：基盤整備の推進と農地の効率的活用

○　営農効率を高めるため、水田の汎用化等の基盤整備を推進

・ 農地の大区画化や畑地かんがい施設の更新整備により、担い手農家への農地集積・集約化を推進（８地区）

【畑地かんがい施設 洗馬妙義地区（塩尻市）】

○　水管理の省力化と用水の安定供給を図るため、長寿命化計画に基づく水利施設の更新を推進

・ 長寿命化計画に基づく基幹水利施設の更新を実施（１地区）

・ 市村及び土地改良区が行う長寿命化計画の策定及び支線水利施設の更新を支援（４市村ほか）

重点取組４：安全安心で持続可能な農業・農村の活性化

○　対策が必要な防災重点農業用ため池の地震耐性評価と防災工事の実施

・ 豪雨対策、地震対策が必要な農業用ため池施設の地震耐性評価（８か所）と防災工事（１か所）を実施

・ 市村が行う地震耐性評価（13 か所）と防災工事（６か所）を支援（４市村）

【防災工事（ため池）本山地区（塩尻市）】

○　用水路等の維持や農産物生産の継続のほか、住民参加による地域活動の活性化を支援

・ 多面的機能支払や中山間地域農業直接支払により、住民の共同活動による農村の多面的機能を持続的に発揮するための取組を支援（８市村）

○　野生鳥獣による被害軽減のための防護柵の設置・管理など地域ぐるみの取組を促進

・ 農作物鳥害対策講習会の開催を支援し、有効な鳥害対策を推進（１回、８協議会）

・ 課題に応じた地域ぐるみで取り組む鳥獣害対策を推進し、住民主体による対策の実践を支援（６地域）

【サル対策電気柵設置研修会（松本市）】

○　風食対策に向けた緑肥作物等の利用促進

・ 技術実証ほ場視察や課題を栽培方法等についての研修会を開催し、麦類以外の緑肥作物による取組拡大を推進（検討会２回）

・ 緑肥、ｸﾞﾗﾝﾄﾞｶﾊﾞｰﾌﾟﾗﾝﾂの活用に関するﾏﾆｭｱﾙを作成し、現地における取組の普及拡大を推進（資料作成、啓発活動各１回）

重点取組５：松本地域の食材を活かした地産地消や食育活動の推進

○　農業体験や地域の食文化の伝承など食育活動を行うグループの育成と活動を支援

・ 関係機関と連携し、小学生を対象とした「りんご学習会」の開催を支援（５回、155 人）

・ 農村生活マイスターと連携し、住民向け料理講習会など食育活動の実施を支援（11 回、135 人）

【羽淵キウリ講習会（塩尻市）】